

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|----------------------------|---------|--------------|-----------|--------------------------|
| 団体名 | 浅口市 | 代表者名 | 栗山康彦 | | |
| 担当者部署 | デジタル戦略課 | 連絡先電話番号 | 0865-44-7008 | | |
| 担当者役職 | 課長補佐 | 担当者氏名 | 福間 仁憲 | 連絡先E-mail | joho@city.asakuchi.lg.jp |
| 住所 | 719-0295 岡山県浅口市鴨方町六条院中3050 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 下山 紗代子 |
| 評価 | よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 各課が抱えている業務課題について、DX推進を踏まえてアドバイスをいただいた。データ利活用の専門家ということで、今あるデータを色々な視点から見ることで、業務課題についてどう取り組むかアドバイスをしていただいた。本市の職員はデータを活用するという視点に欠けているところがあったため、今後は、データを活用するという視点を持って業務にあたります。 |
| アドバイザーへの要望事項 | なし |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|-------------------|--------------|--------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和5年11月1日 | 講演(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | | | 8時40分 | 17時00分 | 90 |
| | | | 活動時間（分） | 410 | |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 市役所本庁舎会議室 | 最寄駅 | 鴨方駅 | |
| | 所在地 | 岡山県浅口市鴨方町六条院中3050 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | | |
|------|---------------------------|---|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/ |
|------|---------------------------|---|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 6人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | ・各課においてDXを進めるにあたって、どう取り組めばいいのかわからない。 ・生成AIとは何か？どうやって使うのか？使う時の注意点は？など、生成AIについての情報、知識が不足している。 | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | ・各課が抱えている課題について、どうやって取り組むべきかアドバイスをいただき、各課がDXの取り組み方を習得し、今後のDX推進に繋げていく。 ・生成AIについての知識を習得し、生成AIを業務に活用することで業務効率化を図る。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | ・建設課が担当している土木委員に関する申請書類のペーパーレス化、業務の効率化に対するアドバイス ・オープンデータへの取り組みに関するアドバイス ・生成AIについての概要、使い方、使う上での注意点 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい） | ・土木委員に関して、全国的に一般的に行われているものと思っていたら、そうではなく行っていない自治体も多数あることを初めて知った。そもそも、この制度自体が必要なのかどうか、理想的な業務の在り方を描きながら検討をすすめることになった。 ・オープンデータについて、現在デジタル戦略課のみで登録、更新を行っているが、庁内全体で進めていくべきであり、そのためにはまず全体研修を行いオープンデータについて全職員に認識してもらう必要がある。 ・生成AIの使い方を実際にデモしてもらい、どう利用していくのか職員が理解できました。 | |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 土木委員に関する申請事務の効率化について、制度自体の在り方から再度検討を行うこととなった。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 相談については、全てが解決に至ってはいないが、アドバイスを受けたことで今後の取り組み方が理解でき効果はあった。研修についてはデモを交えて説明していただいたことで、イメージができ大変効果的であった。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | オープンデータの庁内全体研修を来年度実施する 生成AIについては業務に利用するためのガイドラインを作成し、来年度予算の要求を行う。 | |

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

